

# 新医療系学部の設置について（中間まとめ） ＜概要＞

平成30年 1月 25日

福島県立医科大学  
新医療系学部設置準備委員会

注：学部・学科名称は仮称です。

この内容は設置構想中のもので、今後の検討により変更があり得ます。

## 新医療系学部の概要

本県が抱えている諸問題の解決に寄与できる理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、臨床検査技師を養成する。

学部名称

保健科学部

学科名称

理学療法学科 . . . . 40名

作業療法学科 . . . . 40名

診療放射線科学科 . . 25名

臨床検査学科 . . . . 40名

開設予定

2021年4月

施設予定地

福島市栄町地区  
JR福島駅東口より徒歩約5分

# 設置の趣旨及び必要性

## 社会的背景

### 全国的動向

高齢化社会における  
医療需要の増大

### 本県特有の動向

複合災害の影響と県民の  
健康不安の増大

複合災害の経験を  
活かした教育研究の推進

がん対策の推進

疾病構造の  
複雑化

医療技術者の  
偏在・不足

教育機会の確保

医療の高度化

医療技術者の  
資質能力の向上

患者中心の  
医療への転換

## 養成する人材像

- 県民の命と健康を守る専門医療技術者として、高い倫理観と知識・技術、コミュニケーション能力を有する人材
- 生涯にわたって学習・科学するマインドを持ち続け、人として、専門医療技術者として成長することができる人材
- 福島県の地域医療や災害医療を理解し、危機管理への取り組みを能動的に行える人材

## 教育理念

- 福島県立医科大学保健科学部は、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の経験を活かし、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域住民のニーズに応えるとともに、広く社会に貢献しうる専門医療技術者（理学療法士、作業療法士、診療放射線技師及び臨床検査技師）を養成する。
- 生涯を通じて不断に学び、考え、予想外の事態を乗り越えながら、自らの人生を切り開き、成長していくことのできる人材を養成する。
- 学生の視点に立ち、その個性を伸長させるとともに、主体的に多様な人々と協力して仕事のできる資質・能力を身につけさせる教育を体系的に実施する。そのため、一人一人の持つ主体性や多様な個性を尊重しながら全ての教育活動において学生の「学びのプロセス」を重視する。

## 教育目標

- プロフェッショナルとしての高度な知識と技術を修得し、チーム医療の一員としての役割を果すことができる人材を育成する。
- 主体的に、創造的に問題を把握・解決できる医療人となるべく、また人としても、常に学び続け、成長することができる人材を育成する。
- 地域医療、災害医療に関する知識を修得し活かすことができる人材を育成する。

## 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

■ 理学療法士、作業療法士、診療放射線技師及び臨床検査技師、それぞれの専門領域に求められる倫理観と体系的な知識・技術、コミュニケーション能力を修得した者

■ 地域社会への貢献ができる専門医療技術者の基礎として、科学的思考及び自律的に生涯学習を継続する姿勢を修得した者

■ 福島の地域医療や震災医療を理解し、危機管理への取り組みを能動的に行える能力の基礎を修得した者

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

■ 【教育課程の基本】  
人間力を重視した体系

■ 【主体的学修の重視】  
学ぶ力及び姿勢を習得する授業

■ 【授業科目の順序性】  
アーリーエクスポージャー  
（早期体験教育）を始点とした  
専門教育

■ 【能動的学修の重視】  
少人数学修とチーム医療への  
対応力への育成

■ 【重視する授業科目】  
プロフェッショナリズムを育  
む実践的科目

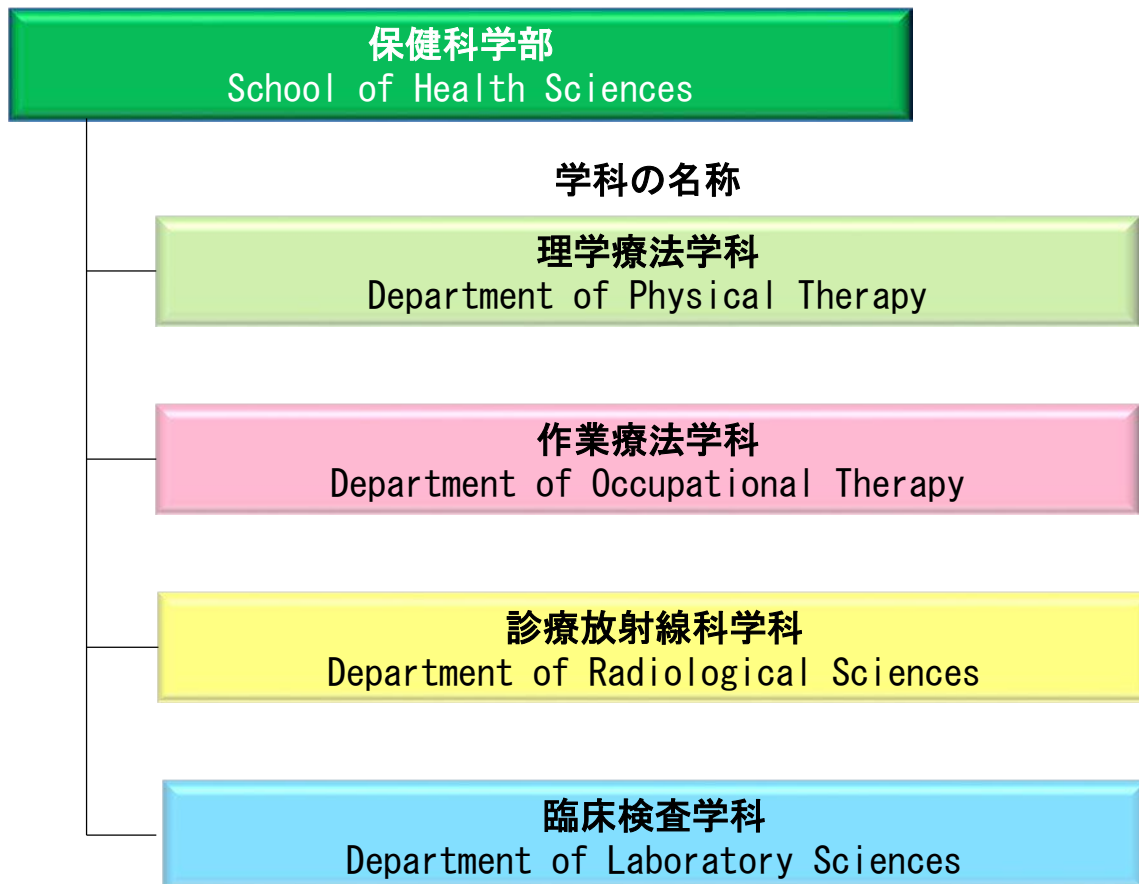
■ 【危機対応力の育成】  
地域医療・災害医療から学ぶ

## 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

- 理学療法士、作業療法士、診療放射線技師又は臨床検査技師として人々の健康と生活を支える意欲を有する人
- 科学的探究心と創造性を備え、主体的に高度な専門知識と技術を学ぶ姿勢を有する人
- コミュニケーション能力に優れ、協調性を有する人
- 東日本大震災を経験した福島の地で学修するという意欲を有する人
- 本学部で学ぶための十分な学力を有する人

## 学部・学科の名称及び学位の名称

### 学部の名称



## 組織として教育・研究対象とする中心的な学問分野

- ・学部  
「チーム医療」、「地域医療」及び「がん医療」の3つを重要課題とする。
- ・各学科  
「理学療法学」、「作業療法学」、「診療放射線科学」、「臨床検査学」とする。

### 理学療法学科

【理学療法学】

### 作業療法学科

【作業療法学】

保健科学部の  
重点課題  
【チーム医療】  
【地域医療】  
【がん医療】

### 診療放射線科学科

【診療放射線科学】

### 臨床検査学科

【臨床検査学】

## 各学科の特色（重点を置く教育研究分野）

### 理学療法学科

疼痛  
理学療法

予防  
理学療法

がん  
理学療法

### 作業療法学科

地域  
作業療法

認知症  
作業療法

がん  
作業療法

### 診療放射線科学科

最先端  
放射線診療技術の  
教育・研究

放射線災害に  
関連する  
教育・研究

### 臨床検査学科

細胞検査士  
養成コースの設置  
(予定)

ゲノム医療に  
対応した  
教育・研究



# 科目区分と科目構成

**教養教育** ▶ 社会人あるいは専門医療技術者として、必要な教養を身につけるための科目

**初年次教育科目**▶ 高等学校からの円滑な移行を図り、学修及び人格的な成長に向け、大学での学びに対する意欲や学修の仕方を修得するための教育科目

修学基礎セミナー 医療技術者入門セミナー 福島県セミナー

**総合科学科目**▶ 人文・社会科学、自然科学、語学から基本となる知識や考え方を身につけるための教育科目

＜例＞数学、統計学、化学、生物学、物理学、体育、哲学、心理学、倫理学  
文学、英語(総合)、英語(医療総合)、英語コミュニケーション

**総合教育科目**▶ 人間性・向上心、コミュニケーション能力・思考力・表現力を身につけるための教育科目

＜例＞コミュニケーション論、情報処理、チーム医療Ⅰ(概論)・チーム医療Ⅱ(演習)  
研究方法論、福島県の医療環境、基礎医科学実習、医療統計学演習

**専門教育** ▶ 専門医療技術者として、必要な知識・技術を身につけるための科目

**専門基礎科目**▶ 解剖学、生理学等の基礎的な医学・医療に関連する学力を身につけるための教育科目

＜例＞解剖学概論・実習、生理学・実習、病理学、公衆衛生学、危機管理学、薬理学、免疫学、医用工学・実習、医学概論、環境と放射線、放射線医学概論、画像医学  
生命倫理学、臨床心理学

**専門科目**▶ 専門医療技術に関連する知識・技術を身につけるための教育科目

＜理学療法学科＞

＜例＞運動器障害理学療法学・演習、神経障害理学療法学・演習、予防理学療法学  
内部障害理学療法学・演習 発達障害理学療法学・演習、がんリハビリテーション学

＜作業療法学科＞

＜例＞作業療法学概論、身体障害作業療法学、精神障害作業療法学、老年期障害作業療法学  
発達障害作業療法学、地域作業療法学、認知症・介護予防作業療法論

＜診療放射線科学科＞

＜例＞放射線計測学・実験、診療放射線科学概論、診療放射線科学総合実習、機器工学  
X線検査技術学、放射線検査技術学実習、磁気共鳴検査技術学、生理画像検査技術学

＜臨床検査学科＞

＜例＞臨床検査医学総論・実習、臨床医学総論、血液検査学・実習、病理検査学・実習  
実践細胞診断学、組織解剖学・演習、微生物検査学・実習、分子生物学・実習

# 教員組織の編成の考え方及び特色

- ・ 専門科目を担当する教員は、各医療技術者養成学校指定規則の教員に関する基準を満たすこと。
- ・ 可能な限り実務経験の豊富な教員であること。
- ・ 各学科の専門分野に応じた学位を授与するため、学科ごとに教員組織を編成し必要な専任教員を配置する。
- ・ 中核的な授業科目については専任教員を配置する。

## 保健科学部 教員組織の専門分野・領域

※検討中

### 理学療法学科

運動器障害理学療法学 ——— 脊椎／関節疼痛

神経障害理学療法学

内部障害・がん理学療法学

発達障害理学療法学

地域・予防理学療法学

臨床実習担当

### 作業療法学科

基礎作業療法学

身体障害作業療法学

精神障害作業療法学

発達障害作業療法学

老年期障害作業療法学

地域・認知症・がん作業療法

臨床実習担当

### 診療放射線科学科

画像診断技術学 ——— 機能画像検査技術学  
統合画像検査技術学  
放射線検査技術学  
画像診断学

核医学技術学

放射線治療技術学 ——— 基礎治療技術学  
応用治療技術学  
放射線治療学

理工学・薬学 ——— 放射線管理・計測学  
情報解析学  
放射化学・放射性薬剤学

### 臨床検査学科

生物化学分析検査学 ——— 生物化学分析学  
臨床化学検査学

形態検査学 ——— 血液検査学  
病理検査学

病因・生体防御検査学 ——— 微生物検査学  
免疫・輸血検査学

生理機能検査学 ——— 病態生理学  
生理検査学

## 教育方法、履修指導方法

### 教育方法

■ 授業時間 60分（1授業時間）

#### ■ 授業の方法

各授業の内容に応じて、講義、演習、実験、実習、実技のいずれかにより又は併用により実施する。その際、以下の手法等を学生の効果的学修の観点から十分吟味した上で適宜導入する。

学生が、問題意識を持ち、自ら考え、気づきを得て、さらに思考を深め、到達した考えを表現するプロセスを含む能動的学修の手法を取り入れる。

演習、実習、体験活動とともに、学修効果を考慮した少人数教育を積極的に取り入れる。

学生が自ら研究に準ずる能動的な活動に参加する機会を与える。

### 履修指導方法

■ 年間登録上限（CAP制）  
1年間48単位（1学期24単位とする）

■ 成績の評価  
GPA（Grade Point Average）制度を導入する。

■ 進級判定  
毎年次、進級判定を行う。

■ 学修指導  
学年担任制を設け、主担当と副担当を配置し、少人数体制によるきめ細やかな学修指導を行う。

# 施設、設備等の整備計画

- 校舎予定地： 福島市栄町地区（JR福島駅東口より徒歩約5分）
- 面積規模： 敷地面積 約 3,000m<sup>2</sup>  
延床面積 約18,000m<sup>2</sup>
- 構造： 地下1階、地上8階建（一部9階建）
- 耐震方式： 制震構造

## 保健科学部（仮称）キャンパス



【図書館】  
光が丘図書館の分館を設置

## 光が丘キャンパス



## 【運動施設】

運動場  
体育館  
テニスコート  
野球場  
50mプール等

## 《整備スケジュール》

- ・平成29年度 実施設計
- ・平成30年度～ 建設工事、備品整備
- ・平成33年度 開設予定

## 取得可能な資格

学 科	取得可能な資格	国家資格・民間資格の別	取得の要件等
理学療法学科	理学療法士国家試験受験資格	国家資格	
作業療法学科	作業療法士国家試験受験資格	国家資格	
診療放射線科学科	診療放射線技師 国家試験受験資格	国家資格	
	エックス線作業主任者免許 (注1)	国家資格	診療放射線技師 資格取得後申請 で取得可能
	ガンマ線透過写真撮影作業 主任者免許 (注2)	国家資格	診療放射線技師 資格取得後申請 で取得可能
臨床検査学科	臨床検査技師国家試験受験資格	国家資格	
	細胞検査士試験受験資格 (予定) (注3)	民間資格	教育課程で設定 する特別コース を履修すること
	遺伝子分析科学認定士(初級) 受験資格 (注4)	民間資格	
	中級・上級バイオ技術者 受験資格 (注5)	民間資格	
	健康食品管理士 受験資格 (注6)	民間資格	健康食品学およ び食品衛生学の 履修が必要

(注1) (注2) 労働安全衛生法 (昭和四十七年法律第五十七号) 及び労働安全衛生法施行令  
(昭和四十七年政令第三百十八号) 第6条の規定に基づく作業主任者。

(注3) 公益財団法人日本臨床細胞学会・一般社団法人日本臨床検査医学会が認定する細胞検査士。

(注4) 一般社団法人日本遺伝子分析科学同学院が認定する遺伝子分析科学認定士。

(注5) 特定非営利活動法人日本バイオ技術教育学会が認定する中級・上級バイオ技術者

(注6) 一般社団法人日本食品安全協会が認定する健康食品管理士

## 臨床実習の具体的計画

- ・ 実習先との連携を強化するため、臨床実習前に臨床実習担当者と教員で「臨床実習指導者会議」を開催する。
- ・ 施設には巡回担当教員が訪問し、学生と実習指導者に対して、必要な指導と助言を行う。
- ・ 事前指導としてオリエンテーションを実施し、実習後は実習報告会やレポートを作成することにより、以後の学業に結びつける。

